

## 【下郷地区】地方創生意見交換会（結果）

日時：平成 27 年 6 月 11 日（木）19：30～21：00

場所：下郷地区公民館 研修室

1. 参加者	参加者 11 人、職員 4 人（小松副町長、遠藤企画情報課長、山根、佐藤）
2. 開会	小松副町長（あいさつ） 遠藤課長（資料の説明）
3. 主な意見	<p><b>●コトウラで育む</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚したがらない人も増えているので、結婚の魅力を伝えることも必要。</li> <li>・子育て環境で、アピールできる魅力をつくる。</li> <li>・中部全体の婚活なども必要では。</li> <li>・婚活もイベントになってしまい、慣れてしまい真剣さがなくなるのでは。少ない中できちっとマッチングしていく方がいい。</li> <li>・子どもに色々な経験をさせる。自然の中で色々な経験を積み、たくましが育たないと、親の助けがないと挫折しやすい。</li> <li>・子育て中は、働きながら何かあったときに対応できる制度が必要。</li> <li>・若い女性を増やすのが大切。ターゲットを絞れば、やり方も違ってくる。メニュー化を図り、大胆な施策を考えるべきでは。</li> <li>・地元を愛する教育を子どもの頃から進める。</li> <li>・広島では小学生の頃からカーブについて学ぶ授業をしていることをテレビで観たが、地元を応援する気持ちを小さい頃から育てる教育も必要では。</li> </ul> <p><b>●コトウラで創る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな工場や会社がなぜ来ないか。職種も少ないため、雇用がなければ都会に出てしまう。</li> <li>・子どもも親の背中を見て育つ。農家でも何か魅力があれば若い人も育てているが、えらいばかりだと外に出てしまう。地場の農業関係をもっとしっかりしないといけない。</li> <li>・地元の産業のよさを伝えていく。</li> <li>・仕事がないというが、建設業などは職人の後継者も減っている。農業だけでなく、建設業も職人の育成が必要。</li> <li>・人口が減ると、売り上げも減る。少ない人口で何箇所も直売所があると、経費がかかって採算性が少ない。まとめて関西などに出荷してもらうなど、JA に頼るしかないので、JA は必要。</li> </ul> <p><b>●コトウラで輝く</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本海側の魚、四季がはっきりしている、海から山までの距離が近く、コンパクトにまとまって色々体験できることなどの魅力を PR。</li> </ul> <p><b>●コトウラに根づく</b></p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元にも空き家がたくさんある。安く住んでもらって、米子や中部に勤めに出てもらえばいい。</li> <li>・CCRCは、一時的に人口が増えても10年後はどうなるのか。医療費だけが増えていくのでは。若者がついて来ないといけないのでは。</li> </ul>
4. その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外で一人暮らしをすることも、子どもにとっては勉強。そういう経験をした上で、地元へ帰ってきてもらうのがよい。</li> <li>・琴浦町は何人ならよしとするのか。自治体を維持する人口規模は。人口構造も昔と違い、生活スタイルも変わっている。人口が減っていく中で、どういう琴浦町を目指すのかということが重要。</li> </ul>